

スポーツ施設の整備促進について

【担当省庁】 文部科学省、国土交通省

2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスターズゲームズと3年連続で大規模国際大会が開催されることを絶好の機会として、京都府においてもスポーツを「する」「みる」「支える」機会の拡充を図りたいため、以下の措置を講じていただきたい。

京都スタジアム整備事業の「スポーツ振興くじ助成事業」への採択

- ◆ 京都府では、京都中部の亀岡市において、青少年の夢とあこがれの舞台となるような専用球技場である「**京都スタジアム（仮称）**」の整備を進めており、これを「**スポーツ振興くじ助成事業（大規模スポーツ施設整備助成）**」に採択していただきたい。

<スポーツ振興くじ（toto）助成事業>

◎ 大規模スポーツ施設整備助成

スポーツ振興投票対象試合を実施する競技場の新設事業に係る工事費等を助成

「防災・安全交付金」「学校施設環境改善交付金（社会体育施設）」による京都府立運動公園の整備

- ◆ 東京オリンピック・パラリンピック等の成功には、日本全体でスポーツの機運を高めることが必要である。
このため、京都府では府立運動公園において、次代を担うジュニアアスリートの育成拠点整備等を行いたいと考えており、国で概算要求中の「**防災・安全交付金**」「**学校施設環境改善交付金（社会体育施設）**」等のスポーツ施設整備のための予算を確保していただきたい。

<主要な構想>

○京都府立丹波自然運動公園：「京都トレーニングセンター構想」

ジュニアアスリート（中高生）の育成拠点施設の整備

（府内産木材によるトレーニングセンター及び宿泊棟（合築）新築など）

○京都府立山城総合運動公園：「京都スポーツヒル構想」

府民の多様なニーズに応じたスポーツ活動拠点整備

（球技場の人工芝生化、陸上競技等用クラブハウスなど）

○京都府立木津川運動公園：「幅広く府民が気軽にスポーツを楽しめる公園」

山砂利採取跡地の自然再生と様々なスポーツ・レクリエーションが展開できる公園の整備

<文部科学省の概算要求>

- ◎ 学校施設環境改善交付金 2,937 億円 (社会体育施設分はこの内数)
義務教育諸学校や社会教育施設の施設整備の実施に要する経費に交付

<国土交通省の概算要求>

- ◎ 防災・安全交付金 1兆2,647 億円 (26年度予算額1兆841 億円)
国民の命と暮らしを守るインフラ総点検・再構築に資する事業に交付

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた合宿地 (事前キャンプ地) の誘致

◆ 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、全国的にスポーツの振興や国際交流の促進への機運が高まっている。

このような中、京都は、数多くの国際的・全国的なスポーツ大会を開催してきた実績と、文化面においても豊富な人材と交流基盤を有していることから、海外からの選手団の受入面で貢献できると考えている。

については、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの**合宿候補地 (事前キャンプ地) に京都を選定**していただきたい。

※ 京都の特性

- 日本の歴史や文化に触れることができる絶好の場所
- 現在、様々なスポーツ施設の整備を積極的に推進 (府立体育館の大規模リニューアル、京都トレセン (仮称) 整備等運動公園の整備、専用球技場の新設)
- 府立体育館においては、バレーボールやテニスの国際大会を開催しており、海外選手団の受入実績
- 全国都道府県対抗女子駅伝や全国高等学校駅伝競走などの全国規模の大会を開催

【現状・課題等】

◎ 京都スタジアム (仮称) の整備 (整備場所: 亀岡市)

- 目的** 複数の球技の国際的、全国的な試合に対応できるスタジアムを整備
- スポーツを通じた青少年の健全育成 (青少年の夢とあこがれになる施設)
 - 人が集い、地域振興に貢献する施設
 - 防災機能など複合的な機能も想定

整備概要

- 規模・用途: 25,000人 (J1レベル) 全席屋根付き
サッカー、ラグビー、アメフトの専用球技場
- 整備スケジュール: 基本・実施設計、工事 平成26～29年度 予定
(予算概算 設計 約3億円、工事 約130億円)
- Jリーグ京都サンガがホームスタジアムとする予定
- スタジアム本体やその周囲に府域全域から集客できるにぎわい施設を整備

◎ 京都府立運動公園の整備

■京都府立丹波自然運動公園 「京都トレーニングセンター構想」

丹波自然運動公園内の恵まれた自然環境を活かし、中学・高校生を中心としたジュニア競技者の育成拠点として、トレーニング機能をもった施設を宿泊棟と合築で（木造、一部鉄骨造）再整備。整備に当たっては府内産木材を利用

<主な再整備施設と事業費、事業メニュー>

(単位:百万円)

	整備施設	事業費	事業メニュー(交付金等)
実施・着手 済み (24~26)	・テニスコート(4面) 夜間照明	72	防災・安全交付金
	・補助競技場夜間照明		
整備予定 (27~)	トレーニングセンター及び 宿泊棟(合築)	2,330 (27) 1,281	学校施設環境改善交付金 森林・林業再生基盤づくり交付金 グリーンニューディール基金
	陸上競技場第2種化整備	160	防災・安全交付金
	テニスコート屋根付観客席	290	
	グラウンド人工芝生化	269	スポーツ振興くじ助成事業
	クロスカントリーコース整備	25	防災・安全交付金
多目的広場整備	6		
計		3,152 (27~ 2,031)	

■京都府立山城総合運動公園 「京都スポーツヒル構想」

広大な園地や都市近郊に立地していることから、府民のスポーツ活動拠点として、新たなニーズに応える施設の再整備

<主な再整備施設と事業費、事業メニュー>

(単位:百万円)

	整備施設	事業費	事業メニュー(交付金等)
実施・着手 済み (24~26)	遠的弓道場	58	森林整備加速化・林業再生基金事業 防災・安全交付金
	陸上競技場スタンド屋根新築	316	防災・安全交付金
	クラブハウス(テニス・野球共用) 増改築	69	元気づくり交付金
	テニスコート屋根新築	236	スポーツ振興くじ助成事業
陸上競技場夜間照明設備	91		
整備予定 (27~)	クラブハウス(第2陸上競技場・球 技場共用)新築	189	防災・安全交付金
	グラウンド人工芝生化	313	スポーツ振興くじ助成事業
計		1,272 (27~ 502)	

■京都市立木津川運動公園

山砂利採取跡地の自然再生と緑豊かな公園と府民参画により府民が育てる公園を基本方針とし、子どもからお年寄りまで幅広い府民が気軽にスポーツを楽しむ公園を目指し、平成26年3月に部分開園

引き続き未供用部分において、様々なスポーツ・レクリエーションが展開できる広場等の整備を進めていく。

<北区域の主な整備予定施設>

- ・スポーツ広場
- ・ふれあい広場 ほか

平成26年度～

事業見込 約61億円

※平成27年度必要見込額

20百万円（国庫10百万円）

■広域防災拠点としての運動公園

丹波自然運動公園及び山城総合運動公園については、広域防災拠点に位置づけ、警察や消防、自衛隊の救助部隊の集結場所、救援物資の集積配送場所として活用することとし、木津川運動公園についても、供用開始後は同様の活用をすることとしている。

◎ 京都府における国際大会誘致に向けた取組

9月9日 京都府スポーツ国際大会等誘致推進本部設置

第1回同推進本部調整会議開催

9月中旬～ 市町村及び競技団体に対し東京オリンピック・パラリンピック合宿地等誘致の意向調査

12月中 誘致計画（案）策定（予定）

◎ 京都を開催地とする主な国際・全国等スポーツ大会 （国際大会）

- ・ワールドグランドチャンピオンズカップ2013（男子バレーボール）
- ・FIVBワールドリーグ2014インターコンチネンタルラウンド（男子バレーボール）
- ・GSユアサ女子オープンテニス、島津全日本室内テニス選手権大会（ともに毎年）
- ・国際親善プレ大会「第14回2014歴史街道丹後100kmウルトラマラソン」
- ・UCI（国際自転車連盟）公認ツアーオブジャパン（平28～）

（開催に向け調整中）

（全国大会）

- ・全国都道府県対抗女子駅伝、全国高等学校駅伝競走、全国車いす駅伝競走
- ・関西学生対校駅伝競走大会（丹後大学駅伝）、TANTANロングライド
（いずれも毎年）

【京都府の担当課】

文化環境部 スポーツ振興課 075-414-4252

建設交通部 都市計画課 075-414-5272